

平成19年2月5日



各位

会社名 **NSW**
(登記社名: 日本システムウエア株式会社)
代表者の役職名 取締役社長 中島 秀昌
コード番号 9739 東証第一部
本社所在地 東京都渋谷区桜丘町31番11号
問合せ先
責任者役職名 執行役員常務 経理部長
氏名 桑原 公生
電話 03-3770-1111(代表)

特別損失の発生及び平成19年3月期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年3月期において特別損失などが発生することとなりましたので、お知らせするとともに平成18年10月23日付で発表した平成19年3月期の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成19年3月期業績予想の修正(平成18年4月1日 ~ 平成19年3月31日)

【連結】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	33,200	500	200
今回修正予想(B)	33,200	△1,200	△1,000
増減額(B-A)	—	△1,700	△1,200
増減率	—	—	—
前期(平成18年3月期)実績	30,764	717	△76

【個別】

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	31,500	500	250
今回修正予想(B)	31,500	△1,200	△1,200
増減額(B-A)	—	△1,700	△1,450
増減率	—	—	—
前期(平成18年3月期)実績	29,432	724	△33

2. 修正理由

(1) 個別業績予想の修正理由

- ①当期におきましては、当社は受注確保に最優先で取り組むとともに、プロジェクト管理を徹底し、納期遵守、品質・生産性の向上、原価低減に努めてまいりました。この結果、売上高は前回発表予想数値を確保できる見込みとなりました。しかしながら、要員不足対応による外注費の増加、データセンター拡張および新規事業立上加速による先行投資費用の発生、営業強化のための販売費の増加などの影響が重なり、収益を圧迫することになりました。
さらに、過年度に受注した複数の開発案件において当初見積より開発規模が増大し、顧客折衝の結果回収不可能と判断したものが発生いたします。
- ②加えて、過去より仕入販売しております組込みソフト開発ツールの陳腐化処分に関する損失として約2億円を期末に計上いたします。
- ③以上①～②の修正理由は経常利益段階までに影響しておりますが、以下の通り特別損失を期末に計上いたします。即ち、当社連結子会社である(株)リンクマネージについて、所期の業績改善が見込めないため、その財政状態、回収可能性を勘案し、当該子会社取得に関わる株式・有価証券の簿価全額4億85百万円を減損し、特別損失として計上いたします。加えて、当社からの同社宛貸付金1億10百万円についても貸倒引当金に繰り入れ、同額特別損失として計上いたします。更に当社が出資している会社の内、純資産が帳簿価額を下回り、今後の業績見通しを踏まえても回収が見込めない先について、投資有価証券評価損1億75百万円を特別損失に計上いたします。
- ④以上に基ついて税引前当期純損失は△19億50百万円を見込んでおりますが、税効果会計などを勘案し当期純損失は△12億円の予想といたしました。

(2) 連結業績予想の修正理由

個別業績予想の修正理由と同様であります。

3. なお、期末配当につきましては、かねてよりの安定配当方針に基づき、当初予定通り1株当たり7円50銭の配当を実施する予定であります。来期は今期業績不振を最後の区切りとして、全社一丸となって業績の回復に努める所存でございます。昨年来推進しております「全社経営改革」を確実に実効の挙がるものに仕上げ、株主、投資家の皆様のご期待に応えられるよう、全力で取り組んでゆく覚悟でございます。

以上

<業績予想に関する注意事項>

上記業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる場合があることにご留意ください。